

親切運動の取り組みについて

学校名 砺波市立庄川中学校
生徒数 117名

1 親切運動の取り組みの紹介

(1) 庄川観光祭清掃ボランティア

庄川観光祭翌日の6月3日(月)の朝、商工会議所の方々とメイン道路周辺の清掃を行った。60名程の生徒が参加し、落ちているごみ(たばこの吸い殻等)を拾い集めた。



(2) チーム対抗グラウンド石拾い合戦

本校では全校生徒を3チームに分け、様々な生徒会活動をチーム単位で行っている。7月と9月に2回環境・ボランティア委員会が主催し、石拾い合戦を行った。ほとんどの生徒が参加し、時間いっぱい取り組んだ。



(3) チーム清掃

7月と12月に、チーム内の1~3年が10の縦割りグループを作り、校舎内の清掃を行った。通常よりは緊張感をもって、静かに清掃することができた。



(4) 能登半島地震 復興ソングプロジェクトに参加

1学期末に被災者の方を招聘し、能登の現状とプロジェクトについて話を聞いた。その後「明るい未来を信じて歌で繋ぐ」という思いで希望生徒が集い、みんなで合唱した様子がユーチューブで公開された。



(5) 花苗植え

6月と11月の2回、砺波市花と緑の財団から配布された花苗をプランターに植え、前庭に設置した。環境委員で水やり当番を決め、育成と管理を行った。

2 親切運動に取り組んで

(1) 取り組みの成果

生徒が中心となって様々な活動を企画し全校生徒に呼びかけたところ、どの活動も多くの生徒が参加した。困っている人や地域・社会のために少しでも力になりたいという思いが、当たり前のように身に付いてきている。これらの親切運動を通して得た経験は、他の生徒会活動や学校行事においてもよりよい相乗効果をもたらしている。

(2) 課題と今後に向けて

本校ならではの活動を継続しながら、生徒や教員の負担にならないよう、活動内容を精選していく必要がある。その上で、他校の取り組みを参考に、生徒主体で新たな活動を企画していきたい。